

# 一般会計71億1700万円でスタート

## 平成22年度当初予算の概要

平成22年度当初予算の概要と特徴をご紹介します。町民のみなさんのご協力をいただきながら進めてまいりました財政健全化策が実を結び、平成20年度決算において赤字を解消することができました。また、新しい財政健全化法で破たん直前と指摘されていた実質公債費比率については、平成20年度決算において早期健全化基準を下回り、平成21年度決算においても基準を下回る見通しです。

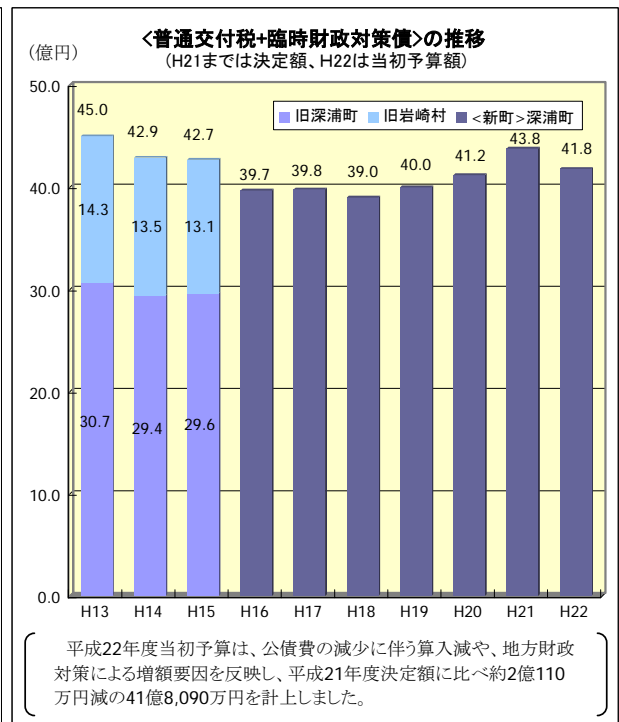
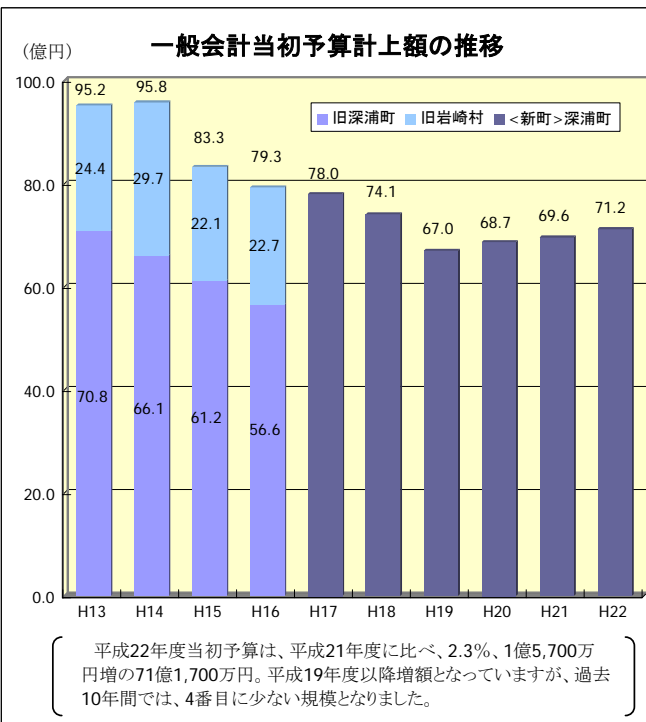
町では、普通会計の赤字が解消され、すべての健全化判断比率が早期健全化基準を下回ることとなったものの、基準をわずかにクリアしたに過ぎず、今後はすべての比率をさらに改善するよう、継続して行財政改革を推進してまいります。

### 1 平成22年度 当初予算総括表

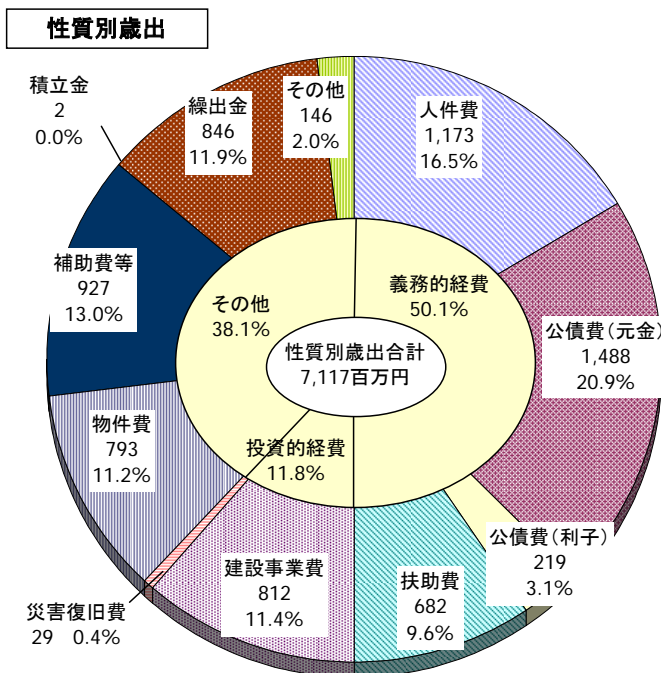
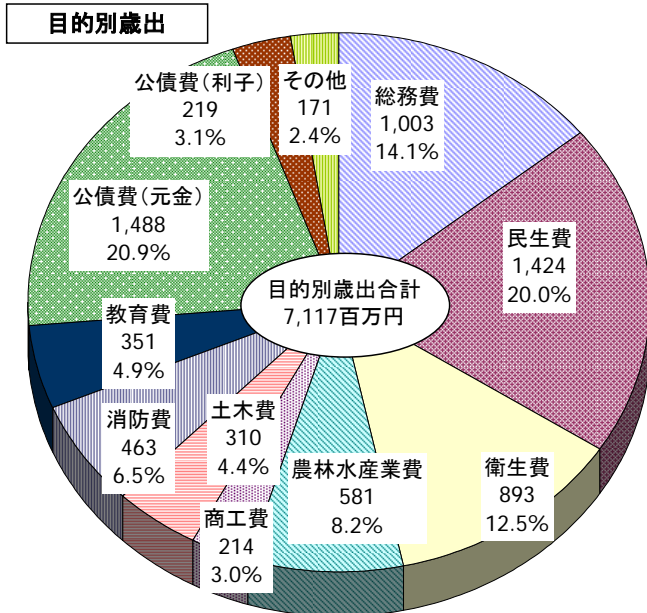
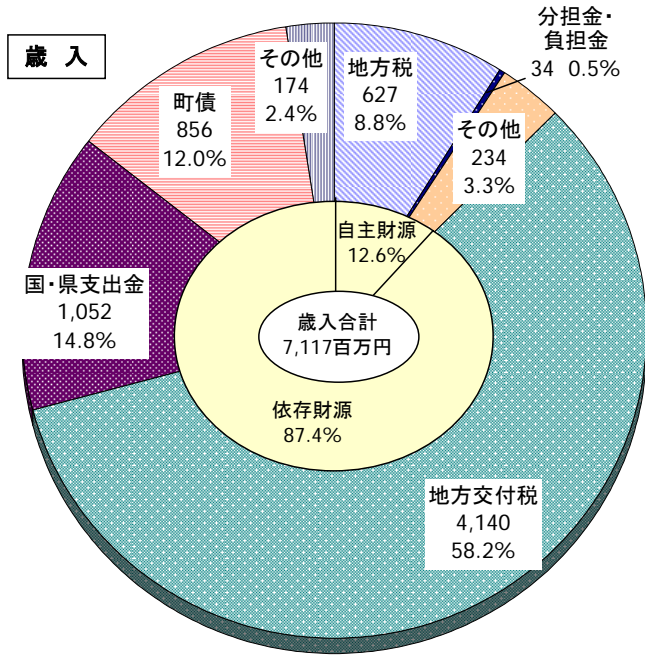
(単位:千円、%)

会 計		平成22年度 A	平成21年度 B	比 較 C(A-B)	伸率 C/B*100
一 般 会 計		7,117,000	6,960,000	157,000	2.3
特 別 会 計	国民健康保険事業特別会計 (事業勘定)	1,672,100	1,712,600	▲ 40,500	▲ 2.4
	国民健康保険事業特別会計 (直診勘定)	120,300	114,500	5,800	5.1
	老人保健事業特別会計	3,000	6,400	▲ 3,400	▲ 53.1
	後期高齢者医療特別会計	232,200	204,200	28,000	13.7
	介護保険特別会計	1,210,800	1,105,200	105,600	9.6
	訪問看護ステーション特別会計	19,900	19,290	610	3.2
	深浦地区簡易水道事業特別会計	408,100	391,400	16,700	4.3
	岩崎地区簡易水道事業特別会計	77,100	76,900	200	0.3
	下水道事業特別会計	254,100	239,300	14,800	6.2
	財産区特別会計	2,300	10	2,290	22,900.0
	アオーネ白神十二湖振興事業特別会計	0	10,000	▲ 10,000	皆減
	特別会計合計	3,999,900	3,879,800	120,100	3.1
	全会計合計		11,116,900	10,839,800	277,100

(▲はマイナスを示します)



## 2 平成22年度深浦町一般会計当初予算の概要



【歳入内訳】

(単位:千円、%)

款	H22 予算額	H21 予算額	比較	伸率
1 町 税	627,310	636,441	▲9,131	▲1.4
2 地方譲与税	61,000	67,000	▲6,000	▲9.0
3 利子割交付金	2,000	2,000	0	0.0
4 配当割交付金	500	800	▲300	▲37.5
5 株式等譲渡所得割交付金	100	500	▲400	▲80.0
6 地方消費税交付金	85,000	90,000	▲5,000	▲5.6
7 自動車取得税交付金	12,000	23,000	▲11,000	▲47.8
8 地方特例交付金	11,700	6,600	5,100	77.3
9 地方交付税	4,140,000	4,210,000	▲70,000	▲1.7
10 交通安全対策特別交付金	1,320	1,500	▲180	▲12.0
11 分担金及び負担金	34,194	35,598	▲1,404	▲3.9
12 使用料及び手数料	30,887	30,831	56	0.2
13 国庫支出金	405,023	387,794	17,229	4.4
14 県支出金	646,417	506,191	140,226	27.7
15 財産収入	69,877	66,684	3,193	4.8
16 寄附金	1	1	0	0.0
17 繰入金	535	1,100	▲565	▲51.4
18 繰越金	1	1	0	0.0
19 諸収入	132,835	131,259	1,576	1.2
20 町債	856,300	762,700	93,600	12.3
歳入合計	7,117,000	6,960,000	157,000	2.3

【歳出目的別内訳】

(単位:千円、%)

款	H22 予算額	H21 予算額	比較	伸率
1 議会費	109,238	97,553	11,685	12.0
2 総務費	1,002,781	1,045,150	▲42,369	▲4.1
3 民生費	1,424,261	1,162,882	261,379	22.5
4 衛生費	892,677	636,400	256,277	40.3
5 労働費	8,303	7,765	538	6.9
6 農林水産業費	580,711	531,928	48,783	9.2
7 商工費	213,694	277,067	▲63,373	▲22.9
8 土木費	309,784	273,124	36,660	13.4
9 消防費	463,673	374,675	88,998	23.8
10 教育費	351,056	625,321	▲274,265	▲43.9
11 災害復旧費	28,618	8,458	20,160	238.4
12 公債費	1,707,204	1,894,677	▲187,473	▲9.9
元金償還費	1,487,870	1,663,735	▲175,865	▲10.6
利子償還費	219,334	230,942	▲11,608	▲5.0
13 予備費	25,000	25,000	0	0.0
歳出合計	7,117,000	6,960,000	157,000	2.3

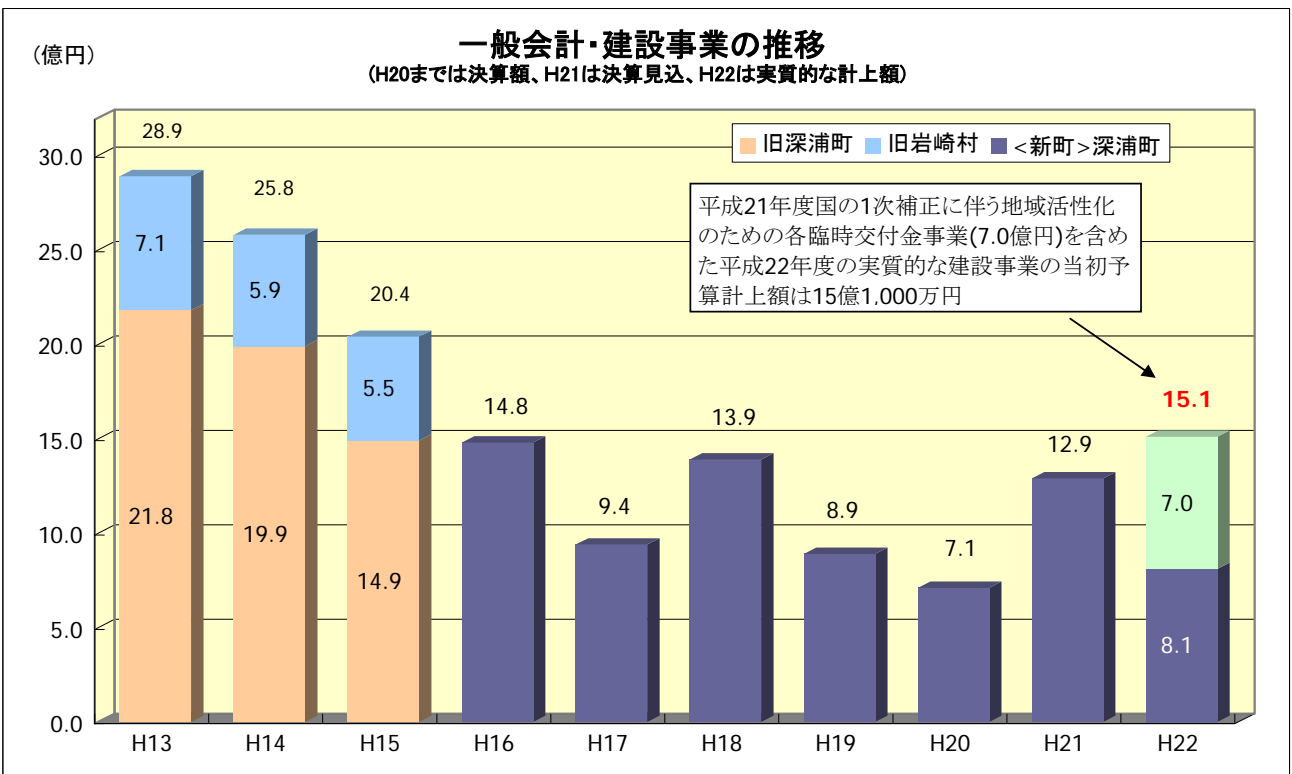
【歳出性質別内訳】

(単位:千円、%)

科目	H22 予算額	H21 予算額	比較	伸率
1 人件費	1,172,590	1,179,239	▲6,649	▲0.6
2 扶助費	682,130	595,696	86,434	14.5
3 公債費	1,707,204	1,894,677	▲187,473	▲9.9
元金償還費	1,487,870	1,663,735	▲175,865	▲10.6
利子償還費	219,334	230,942	▲11,608	▲5.0
4 物件費	793,579	754,656	38,923	5.2
5 補助費等	927,127	864,267	62,860	7.3
6 積立金	2,457	134,601	▲132,144	▲98.2
7 繰出金	845,629	711,441	134,188	18.9
8 建設事業費	811,805	691,503	120,302	17.4
9 その他	174,479	133,920	40,559	30.3
歳出合計	7,117,000	6,960,000	157,000	2.3

### 3 平成22年度当初予算の特徴

項目	内容
1 一般会計・建設事業の規模拡大	平成22年度当初予算建設事業計上額 8億1,181万円に加え、地域活性化・公共投資臨時交付金事業 4億1,590万円、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業 9,158万円、地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業 1億9,210万円を平成22年度に実施
地域活性化・公共投資臨時交付金事業	国の補正予算(H21)に伴い計画した建設事業を平成22年度に繰り越して実施 4億1,590万円
地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業	国の補正予算(H21)に伴い計画した建設事業を平成22年度に繰り越して実施 9,158万円
地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業	国の補正予算(H21)に伴い計画した建設事業を平成22年度に繰り越して実施 1億9,210万円
大間越コミュニティセンター新築事業	7,000万円
介護基盤緊急整備特別対策事業	介護施設(グループホーム1施設、小規模特別養護老人ホーム1施設)の整備に対する補助金 1億2,775万円
斎場建設事業	新斎場の建設 1億6,220万円 (事業期間H22～H23、総事業費5億円)
塵芥収集車整備事業	麩木～岩坂地区車輛 1,323万円
西海岸広域農道整備事業	負担金 7,709万円 (事業費ベース 平成22年度:7億3,500万円)
沿岸漁業構造改善事業	風合瀬漁港・岩崎漁港荷捌き施設整備に対する補助金 1億2,681万円(事業費ベース 1億9,214万円)
町道側溝等整備事業	5,000万円
2 雇用対策事業の実施	43人の雇用創出 6,441万円
3 農商工連携ビジネス推進事業	1次加工品の開発 1,182万円
4 町村合併5周年記念事業	300万円(5月下旬開催予定)
5 子ども手当支給事業	1億4,304万円(現行の児童手当含む)
6 高規格救急自動車の導入	4,300万円
7 麩木・追良瀬地区簡易水道基幹改良事業	深浦地区簡易水道事業特別会計 1億6万円
8 北金ヶ沢地区漁業集落排水施設整備事業	下水道事業特別会計 9,177万円



## 4 深浦町の財政状況と財政健全化への取り組み

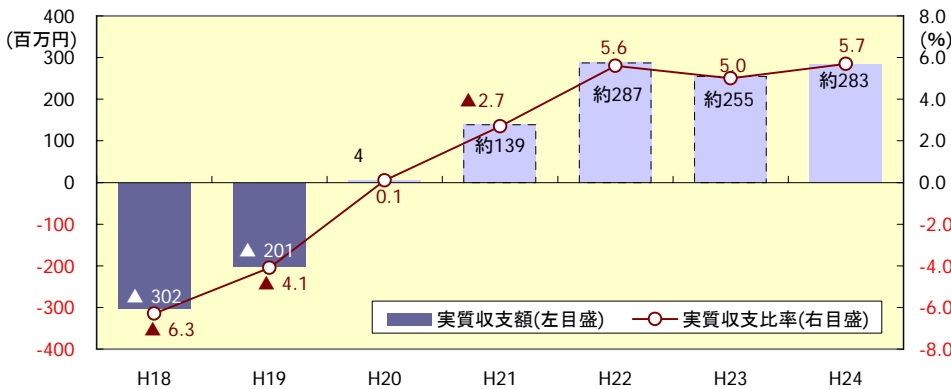
### (1) 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に規定する健全化判断比率の状況(平成20年度決算)

健全化判断比率	算出方法	深浦町の比率 (H20決算)	上段:早期健全化基準 下段:財政再生基準
①実質赤字比率	普通会計赤字額を標準財政規模(その団体の標準的な一般財源の規模)で割って求めます。	黒字のため 該当なし	15% 20%
②連結実質赤字比率	全ての会計を連結させた実質収支が赤字の場合、その額を標準財政規模で割って求めます。	黒字のため 該当なし	20% 40%
③実質公債費比率	年間の借金返済額等を標準財政規模等で割って算出した率の3カ年平均値。借金返済額には簡易水道や下水道会計への繰出金や一部事務組合への負担金のうち、公債費に充てた額も含まれます。	23.7%	25% 35%
④将来負担比率	普通会計の起債残高、公営企業会計や一部事務組合の起債残高、さらには第三セクターへの損失補償等のうち、将来普通会計が負担すべきと見込まれる額の合計を標準財政規模で割って求めます。	165.7%	350% -

### (2) 健全化判断比率改善に向けた取り組み

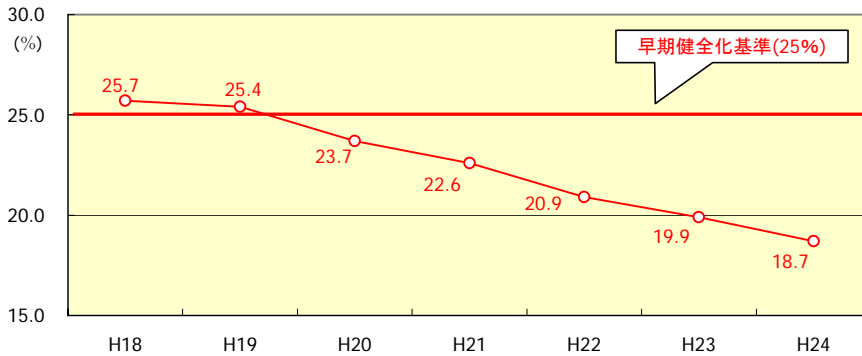
#### ①実質赤字比率

実質収支額 ..... 歳入歳出差引額のこと  
 実質収支比率 ..... 歳入歳出差引額を標準財政規模(標準的な収入)で割った率のこと  
 この比率がマイナスの場合、マイナス符号をとって**実質赤字比率**と表します。



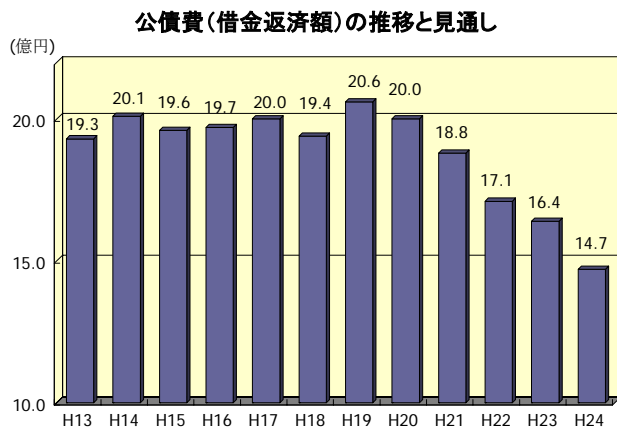
行政改革大綱及び集中改革プランの着実な実行により早期赤字脱却を目指し、平成20年9月に策定した財政運営計画では、赤字解消を平成21年度と見込んでいましたが、1年早まり平成20年度決算において赤字が解消されました。

#### ②実質公債費比率

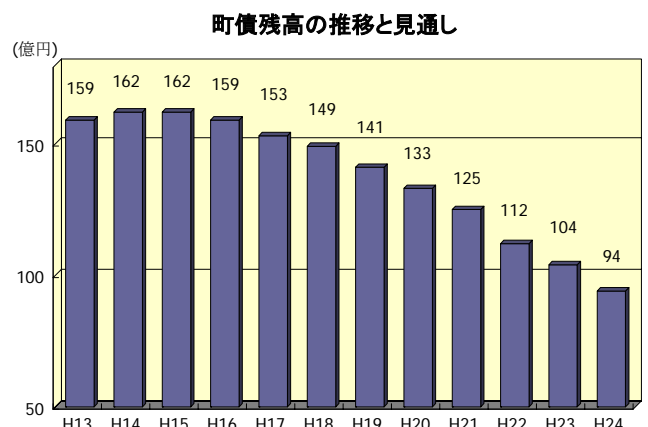


実質公債費比率改善のため、平成19年度に6,160万円、平成20年度に5,053万円、平成21年度に5,625万円の町債繰上償還を実施しました。平成20年度決算では、実質公債費比率が早期健全化基準を下回りました。また今後も改善する見込みです。

#### ③普通会計公債費等の推移と見通し



(平成22年度から、大きく減少する見通しです。)



(平成15年度をピークに年々減少しています。)